

## 令和 4 年度における県外避難者支援の取組について

## 避難者の状況

- ・11年経過した今もなお約2万4千人が県外に避難中
- ・時間の経過とともに避難者を取り巻く課題が個別化・複雑化
- ・引き続き、避難者への相談対応、情報提供、交流機会の提供等を行うとともに、福祉等の具体的なサービスに繋げる取組が必要

## 対応

- ・生活再建支援拠点での相談対応をはじめ、復興支援員によるアウトリーチや交流会の開催、心のケアの取組、住宅確保の支援などの実施
- ・県外避難者担当による支援業務
- ・地元新聞や地域情報紙、自治体広報誌等の送付
- ・NPO等民間支援団体の補助事業を通じた支援

## 事業の内容

各都道府県・自治体

連携

国

連携

## 生活再建支援拠点

- ・全国26ヶ所に設置、運営

## 復興支援員

- ・8都県に43名配置

## 県外避難者の心のケア

- ・相談窓口9都道県に設置
- ・看護師等専門職による戸別訪問

## 住宅・確保移転サポート事業

- ・新たな住まいへの移行を支援

## 福島県

## 避難者支援課

県外避難者担当による  
支援業務

委託

補てん

連携

## NPO等民間支援団体の補助事業

- ・避難先における交流会や戸別訪問、情報提供等を実施

## 情報提供事業

- ・『ふくしまの今が分かる新聞』発行
- ・避難元自治体の広報誌やお知らせなどを送付
- ・地元新聞を全国の公共施設等へ送付

## 母子避難者等高速道路無料化支援事業

- ・母子避難者等の移動に伴う経済的負担を軽減（自主避難者）

## 今後の課題

- ・第2期復興・創生期間においても、継続して支援に取り組むための財源の確保
- ・国、避難先都道府県等の協力の継続

# 生活再建支援拠点の配置（全国26ヶ所）



(参考)

## ふくしまの今とつながる相談室[toiro]

- ・県内外の避難者及び帰還者からの相談への対応
- ・生活再建支援拠点で受けた避難者からの相談への助言・協力

